学校番号	2102

令和３年度　家庭科

教科	家庭科	科目	フードデザイン	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「フードデザイン」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「フードデザイン」は専門科目です。必履修科目で、食品や調理の基礎・基本的な知識と技術を身につけた上で選択してください。授業では、班での調理実習・実験があります。自分から積極的に動いて他の人とも協力しながら取り組む必要があります。また、器具の扱いや食中毒など安全衛生について、先生の指示を良く聞いてしっかり守って下さい。食品や調理の知識と技術を深め、豊かな食生活を創りあげる力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

・多種多様な食品について、栄養的価値、調理上の特徴を体験的に理解し、食生活に生かせる。
・年中行事における食文化を理解し、日本の伝統食についての知識と技術を習得し、後世へ伝承する態度を養う。
・「食」をめぐる現状と課題を把握し、将来の食生活を考える力を養う。
・料理様式に対応した料理ができ、ふさわしいテーブルコーディネートができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	食の役割に関心を持ち、「作る」から「食べる」を総合的にとらえる意欲と実践的な態度を身につけようとしている。	自分自身の食生活や、食環境が大きく変化している現状に課題を見つけ、思考を深める。また、考えをまとめて判断ができる。	調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を習得することができる。	食事の意義と役割について理解するとともに、その構成要素として栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得することができる。
評価方法	・実験・実習への参加態度や成果で、知識・理解、技能、思考・判断・表現を評価します。 ・授業態度･出欠状況･提出物等で学習に取り組む態度･関心･意欲を評価します。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	ガイダンス	フードデザインを学ぶにあたって	○			○	a: 本科目を選択した理由や学習目標が明確である。 d:食生活に関する基本的な知識・理解ができている。	プリント提出
	健康と食生活	・食を取り巻く現状 ・食事の意義と役割	○			○	a:食生活の現状に関心を持ち、改善しようとする意欲が感じられる。 d:食事は、栄養を供給し、生命の維持や健康の保持増進を図ると同時に、精神的な役割や文化的な役割を果たしていることが理解できる。	プリント提出
	フードデザインの構成要素	・栄養 ・食品 ・調理	○	○		○	a:食品の特徴に関心を持とうとしている。食品の表示・衛生に関心を持とうとしている。 b:おいしさは、味・香・色・などと関わっており、調味、加熱などの調理操作ができあがりに与える影響について思考を深めることができる。 d:食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を習得することができる。食品の衛生と安全に関する基本的な知識を身につけている。	プリント提出

	実験・実習	・日本料理、西洋料理、中国料理等の調理実習 ・食品実験 ・料理様式とテーブルセッティングおよびコーディネート	○	○	○	○	a：日本・西洋・中国料理などの料理様式の特徴について、関心を持とうとしている。食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。 調理の目的について、安全性、栄養、嗜好などの面から関心を持ち、学ぼうとする意欲が感じられる。 b：食物のおいしさは、味・香・色・テクスチャー・温度などと関わっており、調味、加熱やその他の調理操作が料理のできあがりに与える影響について思考を深めることができる。 c：調味、加熱等の調理操作が、料理のできあがりに大きく影響することを観察し、考察することができる。調理技術の基礎を身につけることができる。 d：日本・西洋・中国料理などの料理様式について、特徴や献立構成を理解できる。 食事を心豊かにおいしく食べるためには、季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出する必要があることを理解できる。	プリント提出 レポート提出 実験態度と・成果物 実習態度と成果物
	まとめ	ふりかえり 食育の意義	○	○		○	a：食育の意義と活動に関心を持とうとしている。 b：食についての課題を見いだし、その解決を目指した食育活動について思考を深めることができる。 d：食育基本法の理念を知り、食育に関する活動が行われていることを理解できる。	プリント提出 レポート提出

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
c：技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。